

令和8年7月2日の大雨による松原・下笠ダム洪水操作の効果について

◆松原・下笠ダムの洪水操作(ダム下流河川の増水を緩和させる操作)

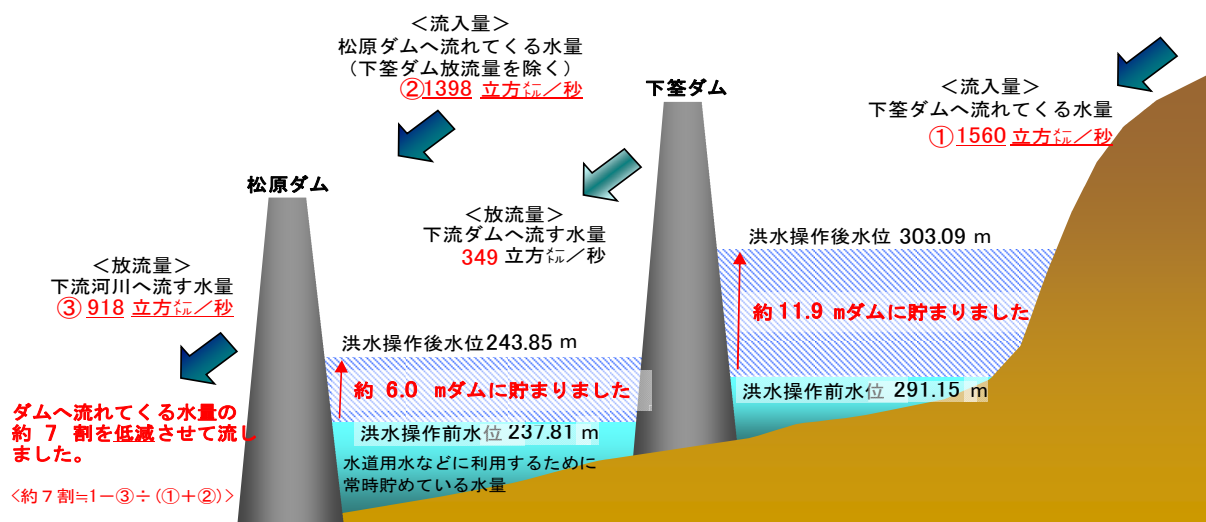
7月2日3時00分より、松原・下笠ダムへ流れ込む水量の一部を松原・下笠ダムへ貯め、ダム下流へ流す水量を最大時で約7割を低減させる操作を実施しました。

◆松原・下笠ダムの洪水調節の効果

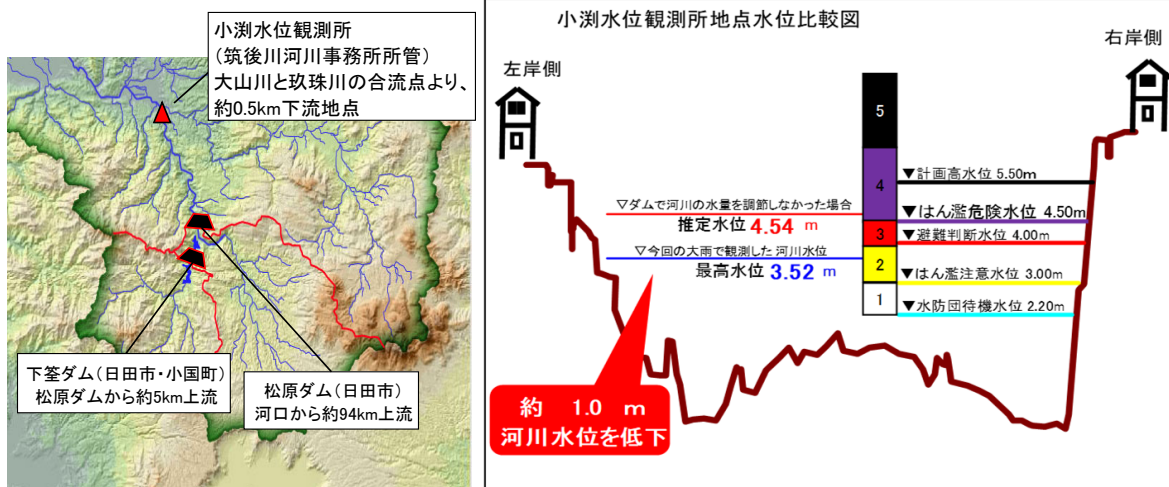
この操作により、ダム下流の小淵水位観測所地点においては、今回の大雨による河川の最高水位を、約1.0メートル低減させたと推測されます。

◆今後も梅雨前線に伴う降雨が予想されますので、防災体制を継続します。

【松原・下笠ダムの操作状況】



【松原・下笠ダムの効果】



※本資料の数値は速報値及び暫定値であるため、今後の調査で変わる可能性があります。

問い合わせ先：国土交通省 筑後川ダム統合管理事務所 副所長 南竹 知己 電話0942-39-6651(代)
管理課長 谷口 正浩